令和5年度 学校評価(学校教育意識調査)集計結果を受けて

1 令和5年度 学校評価(学校教育意識調査)に御協力いただき、ありがとうございました。集計結果を受けて、概況をご報告いたします。

それぞれ、生徒による評価/保護者による評価/職員による評価の結果を、項目ご とに円グラフにしました。

円グラフ内は、そう思う

_{ややそう思う}

あまりそうは思わない

そうは思わない

で色分けしています。

また、グラフ内の黒地白抜き数字は、それぞれの割合()を%で示しました。この中から、「そう思う」「ややそう思う」の<u>肯定的回答の割合</u>を中心に、それぞれの集計結果を分析します。

※ 以下、数字は小数点以下第一位を四捨五入しています。

※ コロナの5類相当認定を受けて、各項目の内容を吟味・刷新したため、昨年度の結果との単純な比較はできませんので、ご承知おきください。

2 評価結果の概況と特徴

生徒による評価から 全体の平均値91%

【学校運営について】

- ・6項目の平均値は95.7%と非常に高いと考えられます。全ての項目が90%を超えています。
- ・③「校舎内外の環境整備や美化が行き届いており、先生方は生徒の安全、事故防止 に注意を払っている」という回答が、最も高い98%でした。
- ・次いで、①・②・⑤の回答が96%でした。

【学校生活について】

- ・7項目の平均値は93.4%と概ね90%を超え、高いと考えられます。全ての項目で85%を超えています。
- ・⑪の「学級・学年、生徒会活動(委員会・部活動)学校行事の取り組みを通して、社会のルールやマナーについて学び、これらを守ろうとする気持ちが育っているか」の回答について98%が肯定的でした。
- ・一方、⑫「自分の悩みや困っていることについて親身になって相談に応じてくれる先生(大人)が校内にいるか」について、85%と、相対的には【学校生活について】 内では最低でした。

【学習について】

- ・5項目の平均値は80.4%と、相対的にはやや低い結果となりました。5項目中90 %超えは⑥だけでした。
- ・特に注目したいのは®「学校の図書室を活用し、読書したり、調べ物をしたりして図書室の活用ができているか」で、結果は65%。全項目中最低でした。
- ・⑰は、『そう思う』の回答が38%と、全質問の『そう思う』の回答中で最低でした。 自身の学習計画や計画的な学習、家庭学習の習慣化について自信のない様子が見えま す。

【地域連携について】

・全3項目の平均値は95%でした。コロナの5類相当認定以降、徐々に地域との連携が再開し、学校外の人々との交流ができる機会が増えました。その結果としての高い平均値はうなずけるところです。来年度以降、さらに可能性を含め、課題とし挑戦します。

保護者による評価

全体の平均値87%

【学校運営について】

- ・7項目の平均値は94%と、学校運営に関して保護者の評価は非常に高い結果でした。
- ・④「学校は清掃や整理整頓が行き届き、掲示物などを含めた学習環境が整えられてい るか」、⑤「学校は、生徒の人格を重んじ、適切な言葉遣いや態度、身だしなみ、電話 や挨拶等で丁寧な応対ができているか」に対し、98%の評価でした。
- ・⑦「教職員は言語活用の授業やその他の指導を通して、お子様自身が自分の考えを持 ち、その考えを相手にわかりやすく伝えられるよう取り組んでいるか」について、相 対的に低めの86%でした。

【学校生活について】

- ・8項目の平均値は86.3%でした。全体としては高い評価でした。
- ・特筆すべき低い評価は、⑮「お子様は、学校の図書室を利用し、読書したり調べ物を したりして図書室の活用ができているか」で、53%と極端に低い回答でした。
- ・⑪・⑱・⑲はいずれも70%台と低い評価でした。特に⑰は、『そう思う』のひょうか が11%にとどまり、保護者回答の中で最も少ないものでした。

【学習について】

- ・4項目の平均値は77.7%とやや低いと感じます。4項目中80%超えは1項目に とどまりました。
- ・⑪「授業はわかりやすいと感じており、学校の学習において、日々力をつけているか」 の『そう思う』は11%にとどまり、保護者回答の中で最も少ないものでした。

【地域連携について】

・4項目の平均値は86.5%と、決して低くはありませんが、②「保護者の活動(保護 者と教職員の会)は、お子様の学校生活や部活動のうんえいにとって有意義な活動に なると思うか」について、76%の回答でした。

職員による評価

全体の平均値96%

【学校運営について】

- ・7項目の平均値は96.4%と、学校運営全体に関して職員自身の評価はとても高い
- ・①・②・③・⑤については、回答した全員が肯定的な回答をしました。
- ・⑥言語活用の授業やその他の指導をとおして、生徒に自分自身の考えを持ち、その考えを相手にわかりやすく伝えられるよう指導している」については、この中にあって87%と、相対的に低く、『そう思う』は37%とという評価でした。

- 【学校生活について】 ・6項目の平均値は98%と、生徒の学校生活に関して職員自身の評価もとても高いも のでした。
- ・ ⑨・⑪・⑫・⑬のいずれも100%という評価でした。
- ・⑧「学級・学年、生徒会活動(委員会・部活動)に積極的に参加し、学校生活において集団構成や活動の場を工夫することで、生徒ひとりひとりの具体的な目標・役割を明確にし、達成感・連帯感を得られるような指導・支援をしているか」について、『そう思う』の回答が54%にとどまったことが特徴的です。

【学習について】

- ・4項目の平均値は90.5%とその他の回答と比較すると、やや低いと感じます。
- ・⑮・⑪はいずれも87%と、なり、特に⑰「学校は、日々の授業や学級/学年びおい て、自ら学ぶ方法や家庭学習の仕方や取り組み方を指導するとともに、保護者に対し ても様々な働きかけをできているか」について『そう思う』が回答者の4人に1人で した。
- ・一方で、⑯「(生徒が) 自ら学ぶ方法、家庭学習の仕方、保護者への働きかけ」につい ては、全体で75%、「そう思う」は5%にとどまりました。

【地域連携について】

- 4項目の平均値は95%でした。
- ・18・19について『そう思う』の比率が低く、38%でした。

【研究・修養】

- ・②「近隣小学校との交流(学校見学会・部活動交流会)や県立つくし特別支援学校との交流、及び協同学習・相互理解につながる活動は、生徒の成長や共生意識の醸成となる活動だと思うか」について『そう思う』だけでも92%の回答があった。
- ・②「各種の研修を通して、生徒一人一人の指導上必要な知識や技能を習得し、自らの 指導力・専門性の向上に努めているか」について、『そう思う』が38%と低かったで す。

3 成果と課題

学校評価(学校教育意識調査)の結果から、令和5年度の本校の学校教育活動の成果と課題は以下のようにまとめられます。

- (1)成果(生徒・保護者がそれぞれ肯定的な回答90%以上の回答があった12項目)
 - ① 入学後の生活ぶりを見て、お子様を金ケ作中学校に入学させてよかったと思う。
 - ② 学校は、学校教育目標の実現に向けて、保護者の思いを受け止めながら、日々の 授業や活動、学校行事等が行われている。
 - ③ 学校は清掃や整理整頓が行き届き、掲示物などを含めた学習環境が整えられている。
 - ④ 学校は、生徒の人格を重んじ、適切な言葉遣いや態度、身だしなみで電話や挨拶 等で丁寧な応対ができている。
 - ⑤ 学校は、授業や行事の参観機会を確保し、ホームページや学校だよりを通じて積極的に家庭や地域に向けた情報発信をしている。
 - ⑥ 生徒は、校訓の「あいさつや思いやり」についてその大切さを理解し、身につけ 実践しようとしている。
 - ⑦ 生徒は、学級・学年、生徒会活動(委員会・部活動)、学校行事等において、目標 ・役割を自覚し、その役割を果たす中で、達成感や連帯感を得られている。
 - ⑧ 学校は、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめが起きにくい、いじめを許さない環境づくりをしている。
 - ⑨ 学校は、社会のルールやマナー、基本的な生活習慣が身につくように指導しており、生徒の規範意識は育っている。
 - ⑩ 生徒は、避難訓練、交通安全指導や学級担任の学級活動等を通して、犯罪、事故や災害から自分の命を守る手段や方法を具体的に学び、もしものときに行動できる態度が身についてきている。
 - ① 学校は、日頃の教育活動を、ホームページ、学校だより、学年だより等を活用して、わかりやすく、学校の様子や必要な情報を適切に発信している。
 - ② 近隣小学校との交流(学校見学会・部活動交流等)や県立つくし特別支援学校との交流、及び共同学習・相互理解につながる活動は、お子様にとっての成長につながっている。

以上のことから、生徒調査21項目、保護者調査23項目中、両者の90%以上の肯定的回答が12項目あったことは、学校運営全般・地域との連携について概ね現状の方向性で良いと捉えられていることがわかります。これに慢心せず、来年度以降も継続・続伸できるように留意したいと考えます。

- (2)課題(生徒・保護者がそれぞれ肯定的な回答の合計%の下位から5つの項目)
- ① 生徒は、学校の図書室を活用し、読書したり、調べ物をしたりして図書室の活用ができている。
- ② 定期試験前の学習計画表、長期休み中のしおりや保護者会資料を御家庭で活用し、 生徒の自主学習等、家庭学習習慣化の一助となっている。
- ③ 生徒は、「授業はわかりやすい」と感じており、学校の学習において日々、力をつけている。
- ④ 学校は、自分の考えをしっかりと持ち、相手にわかりやすく考えを伝えられる子 どもに育てようと努めている。
- ⑤ 生徒は、日々の授業や朝学習(基礎・基本の時間)、読書の時間を通して、「基礎的・基本的な知識技能」が身についてきている。

中には、一方は好評価を得ても、もう一方の評価が低いという結果から結果的にここに至ったという項目もありますが、合計で比較しているため、総じて低いことに他ならないと思います。評価が低いということは、効果への実感や肯定感、実態がないことを意味します。特に、「① 生徒は、学校の図書室を活用し、読書したり、調べ物をしたりして図書室の活用ができている。」は、学校施設にあって、図書室が活用できていないということです。現在の活用方法を見直し、活用頻度や使用時間数を上げ、これを周知することが来年度の大きな課題の一つとなるでしょう。

また、これら5項目は、生徒への調査【学習について】の5項目すべてに当たります。 保護者共々、学習に関する意識の高いこと、同時にそこに結果を求めている結果として、 効果が出ていない、または実感や実態がないことを意味します。学習全般についての教 職員の意識の変革・向上と、方策の改善が求められていると認識します。

4 来年度に向けて

一昨年度から、回答への抵抗感を軽減させる目的でアンケートの実施を I C T 化しました。昨年度、今年度について、特に保護者の皆様からの回答数が少ない結果となりました。より多くのご意見やお考えをいただけるように、工夫・改善し、これを今後の課題とするよう考えています。

また、コロナの5類相当移行を受け、今年度の教育活動について、手探りしながら、何をどのように改め、いつどのように実施するのがより良いものかと、今年度の各行事を実施してきました。コロナ以前に実施していた行事等について、同じものを同じようにするにも、経験していない数年の空白は大きく、経験している職員も減少しました。同様に実施することすらままなりません。さらに、感染症予防への意識の変化と実態を加味すると、従前の行事はもはやできない状態です。改めて考察し、現状に沿う形を模索することが肝要です。

来校される方々は、異口同音に「金ケ作中学校はとても(授業中は)静で落ち着きがあり、そして生徒は(挨拶の様子などから)礼儀正しく、校内もきれいでよく清掃・整頓されている」とお話くださいます。前述のとおり、課題はさまざまありますが、上記のような学校の雰囲気や生徒の様子、校内の環境は簡単につくれるものではありません。まずはこれを基本として、(2)課題について、来年度は取り組む所存です。

今年度当初までのコロナ禍にあって、地域との関わりが減ったとは言え、本校は地域・保護者の皆様他、多くの皆様からの御理解と御協力をいただきつつ、日々の教育活動を行っております。数年にわたるコロナの流行の中、関わりが疎遠になってしまったことは否めません。そして今年度、再び新しい連携を結ぶため様々試行して参りました。来年度も、引き続き「子どもたちのためにより良いものを」と、精進して参ります。今後とも、励ましやお声かけ、お力添えをいただきたく、これまでの感謝として、まずは厚く御礼を申し上げます。

拙いまとめではございますが、アンケート結果と共にお寄せいただいたご意見を参考に、更により良い金ヶ作中学校を創造すべく、信頼に足る学校づくりに邁進して参ります。今後とも、本校への御理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。